



式典、恩師の言葉、記念写真撮影、成人式実行委員によるアトラクションの4部構成で行われた平成29年成人式。アトラクションでは、中学校時代の写真のスライドショーや恩師からのビデオレターの上映、サクソとピアノの演奏が行われました。



特集

新世代 “70”の想い

新成人アンケートから見る若者目線のまちづくり

まちづくり

1月8日、町文化会館で開催された平成29年成人式で、新成人114人に、まちづくりに関するアンケートを行い、70の方に答えていただきました。アンケート結果では、約8割が町に愛着があるとしながらも、地域活動に参加したことがあるのは3割強、行政に関心があるのは4割という結果となりました。

今月号では、アンケート結果から、若い世代の想いを踏まえた、今後のまちづくりについて考えます。

新成人意識調査結果

※新成人114人中回答数70人(内訳:男性35人・女性35人、学生56人・被雇用者10人・他4人、町内在住64人・町外在住5人・不明1人)

問1: 鳩山町に愛着がありますか。

ある	78.6%	ない	17.1%
----	-------	----	-------

無回答 4.3%

【愛着のある主な理由】
「生まれ育った町だから」「友人・仲間がいるため」「人との距離が近いから」「自然が豊かだから」「静かなところ」「平和」

問2: あなたを感じる町の魅力は何ですか。

「自然・緑が豊か」「いい人、やさしい人が多い」「町の中で交流が多く安心できる」「静かで過ごしやすい」「大豆」「星がきれい」「空の広さ」「平和なところ」「車が少ない」

問3: 地域活動(ボランティア含む)や町へのイベントに参加したことがありますか。

ある	35.7%	ない	58.6%
----	-------	----	-------

無回答 5.7%

【参加した活動・イベント】
「保育園の手伝いボランティア」「公園の清掃活動」「地域のお祭り」など
【参加しない主な理由】
「知らなかった」「いそがしい」「機会がない」「面倒だから」「仕事や学校があるため」

問4: 町の行政に関心がありますか。

ある	40.0%	ない	55.7%
----	-------	----	-------

無回答 4.3%

【関心が高まるであろうきっかけ】
「インターネット」「動画をホームページに掲載」「SNS」「若者向けのイベントの開催」「スポーツ系イベント」「分かりやすい情報」

「豊かな自然」「温かみのある人」等の町の魅力に約8割が愛着

今後の鳩山町の未来をのぞむとき、「ないもの」ばかりに目を向けるのではなく、「あるもの」を再評価し、その良さを伸ばしながら町の価値を高めるという取り組みが必要です。

アンケートによると、新成人の多くが、生まれ育った鳩山町が持つ、森があり、空気のきれいな「豊かな自然」や、多くの優しい「温かみのある人」に、

成人式では、小峰孝雄町長から「皆さんの夢や希望が実現できる社会とはどういった社会かを考えて、選挙権などの権利を大事にしてほしい」といった呼びかけがありました。一方、新成人の誓いのことばの中では、「感謝の気持ち、鳩山で生まれ育った誇り、成人としての決意を心に刻み、これからの人生を歩んでいきたい」との言葉もありました。



誓いのことばでは、新成人を代表して矢口雅也さんが「これからは一人一人が自らの行動・言動に責任を持ち、向上心を持って努力し、邁進していく」と力強く誓いました。

愛着と魅力を感じているようです。そして、町内にまだ多くの友人が残っていることは、「仲間がいる」ことの安心感も生み出しています。

町の良い所を次世代へ

式典中は静かに人の話を聞くという、人として当たり前に行うことができる人格を育ててきた、



今後も守りたい。若者の屈託のない笑顔。

町の自然と人。そして、誓いのことばで述べられていた「親や恩師、地域の人々への感謝の気持ち」。今後も、この鳩山町の良さが次世代にも受け継がれていくよう、それを担う若者への関わり方が重要です。

まちづくりにつながる行政への関心 地域活動等の参加経験は約4割

まちづくりの熱量を高めるためには、多くの人が行政に関心を持ち、地域活動などに参加することが必要不可欠です。

アンケートでの地域活動は、小中学校時代に経験したものが多く挙がっていました。卒業後も、若い世代が地域活動に関われるよう、スポーツなど若者向けのイベント開催や、日頃から慣れ親しんでいるインターネットや動画による周知なども考え

る必要がありそうです。

一方で、「両親の誘いで参加」との声もあるように、これまで培ってきた信頼関係のある親や地域の方々が、若い世代に積極的に呼びかけをすることも、人との距離が近い、鳩山町ならではの方法かもしれません。皆さんも、若者の声を参考に、次世代につながるまちづくりの形について、いっしょに考えてみませんか。

Pick Up 県内世論調査結果との比較で見る 若者が関心のある分野(上位10項目)

※カッコ内数字は「平成28年度埼玉県世論調査」による20歳代の順位。全36項目を共通選択肢としてアンケート

- 第1位 ◆便利な交通網をつくる(5位)
- ◆自然をまもり、緑を育てる(3位)
- 第3位 ◆雇用の場を広げる(4位)
- 第4位 ◆子育て支援の充実(1位)
- ◆医療サービス体制の整備(8位)
- 第6位 ◆道路や街路の整備(7位)
- ◆公園・緑地の整備(19位)
- ◆スポーツ・レクリエーションの推進(12位)
- 第9位 ◆バリアフリー化の推進(31位)
- ◆川・大気を守る(16位)

その他、県内調査と比べて特徴的な項目

第11位: 健康づくりの推進による疾病予防(35位)・防犯の地域づくり(2位)、第23位: 高齢者福祉の充実(13位)
※交通の不便さから「交通網整備」へ期待が大きい一方、愛着のある「自然・環境の保全」への関心が高くなり、また、関心が低くなった「防犯」面は、治安の良さが反映された結果と言えます。

若者は何に関心がある?

アンケートでは、「関心のある分野」も答えてもらいました。回答数は28人とサンプルは少ないものの、県内の調査と比較すると鳩山町のまちづくりに参考となる特徴を見ることができました。